

## 炉辺談話(413)

---

### ロータリーの原点を探る 1

資本主義とは産業革命後の社会における資本家と労働者による経済体制のことで、資本家対労働者の対立の構図だと考えられています。19世紀から20世紀初頭は醜い資本家の欲望が労働者を搾取した時代でもありました。

資本家が原材料費から労働者に支払った賃金を差し引いたものを余剰価値生産(利潤)だと考えれば、いかに安い賃金で労働者を雇うかが利潤を増やして資本の自己増殖を図る鍵となり、そこに労働者の貧困、失業などの問題や、無秩序な自由競争による経済恐慌などの大きな社会矛盾を孕んでいました。

ロータリーが創立された当時は、いかにして利潤を独占しようかと、資本家が弱肉強食の競争に明け暮れていた時代であり、特に西部に進出するための交通の要衝として栄えたシカゴは、成功を夢見た人たちが集まった無法と腐敗の街であり、事業主は無秩序な自由競争に狂奔し、同業者はすべてライバルであり、法さえ犯さなければ金を儲けた者が成功者としてもてはやされました。労働者を搾取したり顧客をごまかした取引で大金を得たことに対する後ろめたい気持ちも、僅かばかりのチャリティーをすることで周囲の人も納得しました。騙すよりも騙される方が悪いという風潮がまかり通っていました。

すさまじい自由競争の中で生きているビジネスマンにとっては、毎日過酷な日が続き、孤独感と疎外感に加えて、いつこの過酷な自由競争の敗者になるかもしれないという恐怖感が常に付きまとっていました。そんな街の中では親友ができる道理はありません。もしもこの街の中で心から何でも相談できる、また語り合える友人が居たらどんなにすばらしいことだろう。そういう発想からロータリーは生まれたわけです。

親睦を目的としてロータリーは出発しましたが、せつかく一人一業種でたくさんの仲間が集まったのだから、お互いの商売を利用して金儲けにそれを利用したらどうかという、さもしい発想が浮かんできました。すなわち物質的相互扶助という考え方が起こってきたのです。

---

つい先日、歴史的文献を収録している英文のアーカイブス・サイトから 1906 年 1 月に制定された最初のシカゴ・ロータリークラブの定款・細則を発見しました。

定款第 2 条の目的には

1. 会員の事業上の利益の促進
  2. 通常、社交クラブに付随する良き親睦とその他の特に必要と思われる事項の推進
- と明記されており、当初のシカゴ・クラブには奉仕の概念はなく、事業の繁栄と親睦を目的にして創立されたことが分かります。

会員同士の互惠取引が積極的に行われ、印刷業者のラグルスは、彼の保険を保険代理店のトユニソンと契約し、その代わりに、トユニソンはラグルスから文房具や用紙類を買います。二人はシールに石炭を注文し、彼は勿論保険と印刷を彼らに頼み、ハリスはいつもシールから石炭を買ったし、ごく当たり前のこととして、三人全員からの法的な問題を喜んで引き受けました。四人とも汚れたシャツはアーサー・アーヴィンの洗濯屋に届け、アーヴィンは感謝しながら彼らと取引をしました。また、みんなは洋服屋のショーレーとも取引をし、その関係は果てしなく続いていきました。このようにして、彼らは堅固で自己中心的な相互扶助のグループを作っていました。自らが搔けない自分の背中を、お互いが車座になって搔き合おうというエゴイズムで、ロータリーは出発したのです。

この定款によれば、統計係という役職が設けられて、会員相互の商取引や斡旋の結果を郵送して例会で報告したという記録が残っています。

IT IS VERY IMPORTANT that you return this postal at once as we have to guarantee a certain number at each dinner; also to ascertain the amount of business transacted between members. Kindly keep a record showing the names of members you have transacted business with so record can be verified.			
Shall you attend the next ROTARY meeting (		(Yes_____	No. of guests—
		(No_____	
MEMBERS' REPORT			
Since last meeting I have	(Received Business	_____Items from_____	No. of Members
	(Influenced "	_____Items from_____	No. of Members
	(Given "	_____Items from_____	No. of Members
Date _____	Signed _____		

重要事項.....毎回の食事の数を確定し、会員相互で取引されたビジネスの量を確認する必要があるため、この郵便物を直ちに返送すること。あなたが取引したビジネスを立証する記録をつけて、その会員の名前をしめした記録を大切に保管しておくこと。

(はい)

次回の例会に参加しますか

(同伴者数)

(いいえ)

前回の例会以降、私は\_\_\_\_人の会員から\_\_\_\_件の取引を受け取った。

私は\_\_\_\_人の会員について\_\_\_\_件の取引に影響を与えた。

私は\_\_\_\_人の会員に\_\_\_\_件の取引を与えた。

日付\_\_\_\_\_

署名 \_\_\_\_\_

ロータリー創立の大きな目的が会員同士の物質的相互扶助であったため、会員各自の事業の内容が部外者に漏れないように、機密保持を徹底し、定款第 10 条には機密保持という項目を設けて、「例会におけるすべての方針、規則、細則、および商取引は、厳密に機密を保持するものとする。」と定めています。

なお、4 回続けて例会を欠席すれば退会になると定めた一方で、例会は月に 2 回とし、さらに 7 月、8 月は休会というゆるやかな規約になっています。

1908 年 12 月 1 日の日付が入った、会員相互取引報告書が残っていますが、左側の欄に商品を提供した会員の氏名が、右側の欄に商品を受取った会員の氏名が書かれています。

この排他的かつ物質的相互扶助を重視するクラブ運営に関しては、世間から大きな批判を浴びるとともに、ロータリアン内部からもこれを是正しようという動きが起こってきました。これが 10906 年 4 月に起こったドナルド・カーター事件です。

フレデリック・トゥイードが、特許弁理士であるドナルド・カーターにシカゴ・クラブへの入会を勧めました。親睦と事業上の利益の向上を謳った定款を見せて入会を促したところ、クラブは対社会的奉仕活動をすべきだという理由で入会を断ります。その考え方に共感したトゥイードは、入会して内部から改革を実現するように説得して、カーターはこれに同意してシカゴ・クラブに入会します。

そしてこの年の12月に定款を改正して、第2条目的の第三節に「シカゴ市の最大の利益を促進し、忠誠心を市民の間に広げること。」という条文が加わりました。

ドナルド・カーターとフレデリック・トゥイードが共同でシカゴ・クラブに提出した声明文には、「全く利己的な組織は生き残ることができません。ロータリークラブとして生き残りかつ発展することを望むのならば、私たちの存在を正当化する何かをしなければなりません。私たちは何らかの市民に対する奉仕をしなければなりません。この改正は市民に対する奉仕が可能なシカゴの組織になるように、シカゴ・ロータリークラブの目的を拡大するためです。忠誠心を市民に広げて、シカゴ市の利益のために何かをすべきです。」と記載されています。

フレデリック・トゥイードとドナルド・カーターの発案で行われた対社会的奉仕活動の実践例が、ループ地区(シカゴ中心部)における公衆便所設置活動です。

シカゴ・クラブは、グレート・ノーザン・ホテルに25の市民団体の代表を集め、連合公衆便所建設委員会を設立して、行政に働きかけますが、既に施設内にトイレを持っていることを強く主張する、シカゴ醸造組合と百貨店組合の激しい妨害を受けます。

当時のループ地区で顧客用にトイレを供用していたのは、百貨店かバー位しかなく、トイレを借りる必要に迫られた通行人は、女性は化粧品を買うことと引き換えに百貨店のトイレを借り、男性はビールの一杯も飲みバーの扉をくぐらなければなりません。もし、無料のトイレができれば、これらの店の収入に影響を与えることは、誰の目にも明らかでした。交渉は長引き、土地を掘り起こすまでに2年の歳月が掛かってしまいましたが、最終的には、建設用地と20,000ドルの補助金を市当局から受け取ることに成功して、1909年に市役所と公立図書館の横に二つの公衆便所が出来あがったのです。

公衆便所設置は市民のニーズに従って市民団体を組織し、行政当局に働きかけて、実施にこぎつけたものであり、俗にいわれるような単に金銭を拠出した団体奉仕活動ではなかったことに注目しなければなりません。

対社会的奉仕活動の必要性は認められたものの、会員同士の物質的相互扶助によって事業を発展させるという目的は、その後も続けられました。

1911年の全米ロータリークラブ連合会の会員名簿には、当時加盟していた24クラブについて3ページずつの情報が記載されています。1ページ目はそのクラブのクラブ名と会長、幹事の電話番号と住所や例会場所や時間が書いてあります。残りの2ページにはそのクラブのテリトリーの中にある著名な企業名、電話番号と住所が書いてあります。これは遠隔地におけるロータリアン同士の取引に使われたのです。騙すより騙される方が悪いという世の中ですから、シカゴの果物商がカリフォルニアの農園と取引したとしても、果物商に注文通りのオレンジが届く確証はありません。また農園の方にも約束通りの料金が支払われる確証がありません。しかしロータリアン同士の取引ならばお互いが信頼できたわけです。

1911年の連合会の組織表には、Local Trading Committee、Intercity Trading Committee、National Trading Committee という委員会があります。Local Trading Committee は自分のテリトリー内における取引を担当した委員会です。Intercity Trading Committee は近隣都市間の取引です。National Trading Committee は全米です。そういった会員同士の物質的相互扶助を連合会が積極的に援助していたのです。

なお、定款から親睦と事業上の利益の促進という目的が消滅したのは1912年になってからのことです。

---

2009.8.16